

教育・研究業績書

センター名
大学病院医療情報センター

<教員の紹介>

教授 中村 哲也
准教授 木村 一元

I 教育活動

教育実践上の主な業績	年月	概要
① 教育内容・方法の工夫（授業評価を含む）		
1. 講義と演習を組み合わせた授業（木村）	2004年5月～現在	1998年から医学部大学院にて「医学統計学」を担当し、実践的な統計手法の講義と演習を行っている。2002年より現在まで医学部1学年の「統計学入門」の演習を、2004年からは2学年の「医学統計学」の講義と演習を担当している。演習には、レポート課題を用意し、各人異なった結果が出るように課題内容を工夫している。
2. 学生の臨床現場に対する興味意識の向上（中村）	2004年5月～2007年3月	5年生を対象とするBSL（bed side learning）において、内視鏡室で実際に消化器内視鏡を手にとって操作させ、臨床現場に対する興味意識の向上を図った。
3. 医療現場における情報セキュリティー意識向上の取り組み（中村）	2004年5月～2006年7月	新入学生に対するアーリーエクスポージャーにおいて、内視鏡画像ファイリングシステムや学術ネットワークを実際に操作して見せ、インターネットとイントラネットの違いを認識させ、医療現場における情報セキュリティー意識が向上するように工夫した。
4. 学生の授業参加意欲の向上の取り組み（中村）	2004年5月～現在	4年生を対象とした内視鏡診断・治療に関する講義において、内視鏡診断や治療の実際を可能な限りビデオ画像で紹介し、学生の授業への参加意欲を高め、興味を持ってもらうことを意識した。

5. 講義と実習を組合わせた授業（中村）	2007年4月～現在	2007年から看護学部において「情報処理演習」（1学年）を担当し、情報処理機器での情報の取り扱い方や情報処理機器のメリット、デメリットが理解できるように演習を行っている。2008年から「医療・看護情報学」（2学年）を担当し、講義だけでなく、実際の状況を理解してもらうために実習も取り入れている。
② 作成した教科書、教材、参考書		
PDD と PDT-消化器領域における光線力学的診断と治療「医学のあゆみ」Vol. 215, No. 9（中村）	2005年11月	消化器領域における光線力学的診断（PDD：photodynamic diagnosis）と光線力学的治療（PDT：photodynamic therapy）についての参考書になることを目的として、「医学のあゆみ」誌の編集企画を行った。
カプセル内視鏡診療ガイド、南江堂、東京（中村）	2006年2月	小腸用カプセル内視鏡の検査法や診断法についての教科書的かつ参考書的作用となるように、「カプセル内視鏡診療ガイド」を編集、執筆した。
レーザー内視鏡治療ガイドライン（中村）	2006年10月	レーザー内視鏡治療の基本原則から実践、安全対策などについて、消化器内視鏡医に対して参考になるようにガイドラインを作成し、日本消化器内視鏡学会卒後教育委員会責任編集の消化器内視鏡ガイドライン第3版（医学書院、東京）に掲載した。
カプセル内視鏡-小腸用カプセル内視鏡検査の現況「医学のあゆみ」Vol. 220, No. 3（中村）	2007年1月	小腸用カプセル内視鏡検査についての参考書になることを目的として、「医学のあゆみ」誌の編集企画を行った。
消化器疾患を対象とした PDT 施行の安全ガイドライン（中村）	2007年4月	消化器疾患を対象とした光線力学的治療（PDT：photodynamic therapy）施行時の安全対策の参考となるようにガイドラインを作成し、日本レーザー医学会誌 Vol. 28, No. 1 に掲載した。
認定内科医・認定内科専門医受験のための演習問題と解説（消化管、中村）	2007年4月	日本内科学会会員を主な対象として企画作成された、認定内科医・認定内科専門医受験のための演習問題と解説 第3集（医学書院、東京）において、消化管に関連した6問題を作成した。

「情報処理演習」演習教材(看護学部、木村)	2007年4月	情報処理機器のハードウェア、ソフトウェアの異本を示し、メールやインターネットでは、情報倫理や情報漏洩の問題が理解できるように、ワード、エクセル、パワーポイントでは操作だけでなく、利用時の留意点について把握できるようにした。
「医療・看護情報学」講義・演習教材(看護学部、木村)	2007年4月	この領域は近年発展したものであるが、その内容は多岐に渡っている。このため、授業が単調にならないように、講義資料には空欄を用意し、講義を聴きながらその部分を埋めることができるように工夫している。
生涯教育のためのセルフトレーニング問題と解説(消化管、中村)	2008年4月	日本内科学会専門医部会が内科医の生涯教育に役立つように企画制作した、生涯教育のためのセルフトレーニング問題と解説(社団法人日本内科学会、東京)において、消化管に関連した3問題を作成した。
消化管内視鏡診断テキスト(十二指腸、中村)	2008年4月	消化管内視鏡診断における教科書的かつアトラス的役割となるように企画制作された、消化管内視鏡診断テキスト①食道・胃・十二指腸 第3版(文光堂、東京)において、十二指腸に関連する部分を担当、執筆した。
③ 教育方法・教育実践に関する発表、講演・その他教育活動上特記すべき事項		

教育・研究業績書

センター名	職名	氏名	
大学病院医療情報センター	教授	中村 哲也	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1983年～現在	日本内科学会		
1983年～現在	日本消化器内視鏡学会		
1984年～現在	日本消化器病学会		
1984年～現在	日本癌治療学会		
1984年～1989年	日本臨床血液病学会		
1985年～1994年	日本糖尿病学会		
1986年～現在	日本病理学会		
1986年～現在	日本癌学会		
1986年～1994年	日本内分泌学会		
1989年～現在	日本レーザー医学会		
1989年～2009年	日本臨床外科学会		
1989年～1991年	日本腎臓病学会		
1990年～1995年	日本肝臓病学会		
1991年～1995年	日本プライマリケア学会		
1992年～現在	日本臨床細胞学会		
1992年～現在	日本大腸肛門病学会		
1995年～現在	日本臨床病理（検査医）学会		
1996年～現在	日本病理学会評議員		
1996年～現在	World Gastroenterology Organisation（世界消化器病学会）会員		
1996年～2001年	日本内科学会認定医制度指導医（国立神戸病院）		
1997年～現在	日本胃癌学会		
1997年～現在	日本消化器内視鏡学会学術評議員		
1997年～現在	日本大腸検査学会		
1997年～2001年	日本病理学会認定病院指導責任者（国立神戸病院）		
1998年～2009年	日本サーモロジー学会		
1998年～現在	日本光線力学学会		
1998年～現在	International Gastric Cancer Congress（国際胃癌学会）会員		
1998年～現在	上級システムアドミニストレータ連絡会正会員		
1999年～現在	日本医療情報学会		
1999年	国立病院等総合情報ネットワーク（HOSPnet）研究会当番世話人		
1999年～現在	American Association for Clinical Chemistry（米国臨床化学学会）外国会員		
1999年～現在	American Society for Gastrointestinal Endoscopy（米国消化器内視鏡学会）外国会員		
1999年～現在	National Academy of Clinical Biochemistry（米国臨床生化学アカデミー）上級会員（FACB）		
1999年～現在	American College of Physicians（米国内科学会）外国会員		
1999年～現在	American College of Gastroenterology（米国消化器病専門医学会）外国会員，上級会員（FACG）		
2000年～現在	American Society of Laser Medicine and Surgery（米国レーザー医学外科学会）外国会員		
2001年9月～現在	日本内科学会認定医制度指導医（獨協医科大学消化器内科）		
2002年～現在	日本消化器病学会評議員		
2002年～2004年	日本胃癌学会評議員		
2002年～現在	日本食道学会		
2002年～現在	日本内科学会認定医制度研修医指導医（獨協医科大学病院消化器内科）		
2003年～2005年	日本レーザー医学会評議員		

2003年～現在	日本光線力学学会幹事
2003年～2007年	カプセル内視鏡研究会 (CESG-Japan)事務局長
2003年～2005年	日本光線力学学会編集委員長
2003年～現在	日本レーザー医学会学術教育委員会委員
2004年～2005年	日本内科学会資格認定試験病歴要約評価委員
2004年～現在	日本消化管学会会員，評議員，情報委員会委員
2005年～現在	日本レーザー医学会理事，規約委員会委員長，学術教育委員会委員，学会誌査読委員
2005年～現在	日本消化器内視鏡学会和文誌査読委員
2005年～2007年	日本レーザー医学会「消化器疾患を対象としたPDT施行の安全ガイドライン」策定委員会委員長
2006年～2008年	日本内科学会セルフトレーニング問題作成委員
2006年6月～現在	International Phototherapy Association (国際光治療学会)設立会員
2007年～現在	International Society of Laser Medicine and Surgery(国際レーザー医学外科学会)終身会員
2007年6月	第17回日本光線力学学会学術集会当番世話人
2008年1月～現在	日本カプセル内視鏡研究会設立世話人，事務局長
2008年4月～現在	日本消化管学会学術企画委員会委員
2008年10月～現在	日本カプセル内視鏡研究会運営委員
2009年3月～現在	日本内科学会認定制度研修カリキュラム委員 (消化器分野)
2009年4月～現在	日本消化器病学会専門医制度審議委員会試験委員会試験問題作成委員会委員
2009年4月～現在	日本食道学会評議員
2009年7月～現在	日本カプセル内視鏡用語委員会委員長，読影医育成委員会副委員長
< 専門医等の資格 >	
1986年12月～現在	日本内科学会認定医 (第457号)
1989年12月～現在	日本消化器内視鏡学会認定医 (第90382号)
1989年12月～現在	日本内科学会専門医 (総合内科専門医，第899号)
1990年4月～現在	死体解剖資格 (第5688号)
1993年12月～現在	日本消化器内視鏡学会専門医 (第90382号)
1994年8月～現在	日本病理学会専門医 (第1803号)
1994年12月～現在	日本消化器病学会専門医 (第9003号)
1996年12月～現在	日本消化器内視鏡学会指導医 (第90382号)
1997年1月～現在	通産省認定情報処理技術者試験上級システムアドミニストレータ (H2800303号)
2000年12月～現在	日本臨床細胞学会細胞診指導医 (第1754号)
2002年6月～現在	日本レーザー医学会指導医 (第200041号)
2004年1月～現在	日本消化器病学会指導医 (第2071号)
2006年4月～現在	日本病理学会病理専門医研修指導医 (第1803号)
2006年5月～現在	日本レーザー医学会レーザー専門医 (第700009号)
2007年8月～現在	日本がん治療認定機構暫定教育医 (第074445号)
2007年11月～現在	日本消化管学会胃腸科認定医 (第07271号)
2007年11月～現在	日本医療情報学会医療情報技師 (第 20070413 号)

Ⅲ 研究活動

【学位論文】

1. Nakamura T, Yamagishi H, Oinuma T, Masuyama H, Terano A: Esophageal capsule endoscopy versus magnifying endoscopy for detecting esophageal lesions. Proceedings of 11th World Congress of the International Society for the Disease of the Esophagus, Budapest (Hungary), Sept. 10-13, 2008. (Yamagishi Hの学位副論文)
2. Hitomi G, Watanabe H, Tominaga K, Yoshitake N, Suzuki M, Maeda M, Yamagata M, Kanke K, Nakamura T, Masuyama H, Hiraishi H: Endoscopic submucosal dissection in 100 lesions with early gastric carcinoma. Hepato-Gastroenterology 56: 254-260, 2009. (Hitomi Gの学位論文)

【著 書】

和文

1. 中村哲也, 寺野彰: カプセル内視鏡. Annual Review消化器 2004 (戸田剛太郎, 税所宏光, 寺野彰, 幕内雅敏, 編集), 中外医学社, 東京, pp8-12, 2004.
2. 中村哲也, 白川勝朗, 中野道子, 菅家一成: 小腸の内視鏡検査-カプセル内視鏡. 消化器内視鏡 内視鏡これが基本だ. 東京医学社, 東京, pp399-401, 2004.
3. 中村哲也, 白川勝朗: GERDの内視鏡的診断(分類を除く). 消化器病セミナー96 GERD. 寺野彰編集, へるす出版, 東京, pp65-76, 2004.
4. 中村哲也: 7-1 カプセル内視鏡. 腫瘍内視鏡学. 長廻紘, 大井至, 坂本長逸, 星原芳雄編集, 医学書院, 東京, pp178-181, 2004.
5. 中村哲也: 緊急内視鏡を必要とする腹痛-そのチェックポイント. 寺野彰編集, 腹痛診療のコツと落とし穴, 中山書店, 東京, pp168-168, 2005.
6. 中村哲也, 白川勝朗, 寺野彰: カプセル内視鏡の現状と問題点(トピックス-今後の展開). 植村直実, 菅野健太郎編集, 臨床に直結する消化管疾患治療のエビデンス, 文光堂, 東京, pp336, 2005.
7. 中村哲也, 白川勝朗, 中野道子, 寺野彰: I. 総論 2. 検査の実際. カプセル内視鏡研究会, 榊信廣, 中村哲也編集, 寺野彰監修: カプセル内視鏡診療ガイド. 南江堂, pp8-24, 2006.
8. 中村哲也, 松井裕史, 榎原啓之: レーザー内視鏡治療ガイドライン. 日本消化器内視鏡学会監修, 日本消化器内視鏡学会卒後教育委員会責任編集: 消化器内視鏡ガイドライン第3版. 医学書院, pp299-309, 2006.
9. 中村哲也: 問題編 2 消化器 問 1, 2, 3. 解答・解説編 2 消化器 問 1, 2, 3. 石橋大海, 石村孝夫, 小林祥泰, 西崎統総編集, 認定内科医・認定内科専門医受験のための演習問題と解説 第3集. 医学書院, 東京, pp9-10, pp135-136, 2007.
10. 中村哲也: 問題編 2 消化器 問 19, 20, 21. 解答・解説編 2 消化器 問 19, 20, 21. 石橋大海, 石村孝夫, 小林祥泰, 西崎統総編集, 認定内科医・認定内科専門医受験のための演習問題と解説 第3集. 医学書院, 東京, pp14-15, pp143-144, 2007.
11. 中村哲也: 内視鏡非切除術(組織破壊法)-31 photodynamic therapy (PDT). 片山修, 中村真一編集, DVD-Videoで見る1食道・胃の治療内視鏡. メジカルビュー社, 東京, pp190-193, 2007.
12. 中村哲也: カプセル内視鏡. 片山修監修, 田村君英, 並木薫編著, 手にとるようにわかる内視鏡室運営マニュアル~エキスパートがまとめる現場で使える虎の巻~. 株式会社ベクトルコア, 東京, pp249-250, 2007.

13. 中村哲也, 生沼健司, 寺野彰: 排泄されないカプセル内視鏡への対処. 田中信治, 小山恒男, 山野泰徳編集, 消化管内視鏡治療のコツとポイント改訂第2版. 日本メディカルセンター, 東京, pp288, 2007.
14. 中村哲也: 2. 消化器 問題 3. 生涯教育のためのセルフトレーニング問題と解説. 社団法人日本内科学会専門医部会編, 社団法人日本内科学会, 東京: pp4, pp125, 2008.
15. 中村哲也: 2. 消化器 問題 4. 生涯教育のためのセルフトレーニング問題と解説. 社団法人日本内科学会専門医部会編, 社団法人日本内科学会, 東京: pp5, pp126, 2008.
16. 中村哲也: 2. 消化器 問題 8. 生涯教育のためのセルフトレーニング問題と解説. 社団法人日本内科学会専門医部会編, 社団法人日本内科学会, 東京: pp6, pp129, 2008.
17. 中村哲也: 3. 十二指腸の解剖. III. 上部消化管の解剖. 消化管内視鏡診断テキスト① 食道・胃・十二指腸 第3版. 長廻紘編, 文光堂, 東京: pp33-34, 2008.
18. 中村哲也: 1. 十二指腸の観察. VI. 十二指腸. 消化管内視鏡診断テキスト① 食道・胃・十二指腸 第3版. 長廻紘編, 文光堂, 東京: pp270-274, 2008.
19. 中村哲也: 2. 十二指腸潰瘍. VI. 十二指腸. 消化管内視鏡診断テキスト① 食道・胃・十二指腸 第3版. 長廻紘編, 文光堂, 東京: pp275-287, 2008.
20. 中村哲也: 3. 十二指腸炎. VI. 十二指腸. 消化管内視鏡診断テキスト① 食道・胃・十二指腸 第3版. 長廻紘編, 文光堂, 東京: pp288-293, 2008.
21. 中村哲也: 4. その他の十二指腸良性病変. VI. 十二指腸. 消化管内視鏡診断テキスト① 食道・胃・十二指腸 第3版. 長廻紘編, 文光堂, 東京: pp294-307, 2008.
22. 中村哲也: 5. 十二指腸憩室. VI. 十二指腸. 消化管内視鏡診断テキスト① 食道・胃・十二指腸 第3版. 長廻紘編, 文光堂, 東京: pp308-309, 2008.
23. 中村哲也, 寺野彰: カプセル内視鏡の最新情報. 消化器疾患最新の治療 2009-2010. 菅野健太郎, 上西紀夫, 井廻道夫 (編集), 南江堂, 東京, pp5-8, 2009.

【原 著】

欧文

1. Nakamura T, Fukui H, Shirakawa K, Fujii Y, Fujimori T, Terano A: Photodynamic therapy of superficial esophageal cancer with a transparent hood. *Gastrointest Endosc* 60: 120-124, 2004.
2. Nakamura T, Shirakawa K, Masuyama H, Sugaya H, Hiraishi H, Terano A: Minimal change oesophagitis: a disease with characteristic differences to erosive oesophagitis. *Aliment Pharmacol Ther.* 21 Suppl 2: 19-26, 2005.
3. Fukui H, Shirakawa K, Nakamura T, Suzuki K, Masuyama H, Fujimori T, Hiraishi H, Terano A: Magnifying pharmacoscopy: response of microvessels to epinephrine stimulation in differentiated early gastric cancers. *Gastrointest Endosc* 64: 40-44, 2006.
4. Morita E, Tanaka T, Nakamura T, Terabe F, Hirata I, Katsu K, Takazoe M, Terano A: Correlations between video capsule endoscopic findings and clinical activity in Crohn's disease. *Digestive Endoscopy* 18: 263-268, 2006.
5. Nakamura T, Oinuma T, Shirakawa K, Yamagishi H, Fukui H, Fujimori T, Hiraishi H, Terano A: Modified photodynamic therapy for gastrointestinal cancers. *Laser Therapy* 16. 1: 11-16, 2007.
6. Hitomi G, Watanabe H, Tominaga K, Yoshitake N, Suzuki M, Maeda M, Yamagata M, Kanke K, Nakamura T, Masuyama H, Hiraishi H: Endoscopic submucosal dissection in 100 lesions with early gastric carcinoma. *Hepato-Gastroenterology* 56: 254-260, 2009.

和文

1. 中村哲也, 荒川哲男, 後藤秀美, 櫻井幸弘, 田尻久雄, 高橋信一, 飯田三雄, 千葉勉, 日比紀文, 寺野彰: 小腸用カプセル内視鏡の日本人における多施設共同研究報告-原因不明消化管出血を中心に-. Gastroenterol Endosc 49: 324-334, 2007.

【症例報告】

欧文

1. Kim Y, Ajiki T, Nakamura T, Fukuyama T, Okumura S, Terano A: Depressed gastric lesion associated with a sarcoid-like stromal reaction. J Gastroenterol Hepatol, 19: 1081, 2004.
2. Tanaka S, Mitsui K, Shirakawa K, Tatsuguchi A, Nakamura T, Hayashi Y, Jakazoe M, Sakamoto C, Terano A: Successful retrieval of video capsule endoscopy retained at ileal stenosis of Crohn's disease using double-balloon endoscopy. J Gastroenterol Hepatol 21: 922-923, 2006.
3. Shirakawa K, Nakamura T, Endo M, Suzuki K, Fujimori T, Terano A: Pyogenic granuloma of the small intestine. Gastrointest Endosc 66: 827-828, 2007.
4. Yamagishi H, Fukui H, Shirakawa K, Oinuma T, Hiraishi H, Terano A, Fujimori T, Nakamura T: Early diagnosis and successful treatment of small intestinal carcinoid tumor: useful combination of capsule endoscopy and double-balloon endoscopy. Endoscopy Case Library 268, 2007.

和文

1. 下田渉, 中村哲也, 白川勝朗, 萩原信悟, 勝又大輔, 山本浩史, 小林謙之, 宮地和人, 市川一仁, 本間浩一, 藤盛孝博, 菅谷仁, 平石秀幸, 砂川正勝, 寺野彰: ダブルバルーン内視鏡により術前診断が可能であった空腸GISTの1例, 胃と腸 40: 1559-1566, 2005.
2. 中村哲也, 生沼健司, 山岸秀嗣, 平石秀幸, 寺野彰: カプセル内視鏡により経過を観察し得たNSAIDs潰瘍の1症例. 早期大腸癌 11: 266-267, 2007.

【総 説】

欧文

1. Nakamura T, Narahara H, Matsui H, Tanaka T, Nishiwaki Y, Muto M, Shirakawa K: Safety guidelines for performing photodynamic therapy (PDT) on digestive tract. Laser Therapy 17: 159-166. 2008.

和文

1. 中村哲也, 白川勝朗, 中野道子, 菅家一成, 平石秀幸, 寺野彰: カプセル内視鏡の現況と展望. 日本消化器病学会雑誌 101: 970-975, 2004.
2. 中村哲也, 白川勝朗, 中野道子, 菅家一成, 平石秀幸, 寺野彰: カプセル内視鏡の現況と未来. Gastroenterol Endosc 47: 305-312, 2005.
3. 中村哲也, 白川勝朗, 山岸秀嗣, 中野道子, 菅家一成, 玉野正也, 菅谷仁, 平石秀幸, 寺野彰: 医学と医療の最前線 カプセル内視鏡. 日本内科学会雑誌 94: 1640-1646, 2005.
4. 窪田敬一, 中村哲也, 寺野彰: 先端技術の外科学への応用 3. カプセル内視鏡. 日本外科学会雑誌 106: 685-688, 2005.

5. 中村哲也, 白川勝朗, 山岸秀嗣, 生沼健司, 平石秀幸, 増山仁徳, 寺野彰: 進行癌, 大腸癌に対するPDTの挑戦. 日レ医誌 27: 42-50, 2006.
6. 中村哲也: 消化器疾患を対象としたPDT施行の安全ガイドライン. 日レ医誌 28: 21-27, 2007.

【その他】

欧文

1. Nakamura T: When is the optimal timing for performing video capsule endoscopy for obscure gastrointestinal bleeding?, J Gastroenterol. 40: 322-323, 2005.
2. Nakamura T: Is transnasal esophagogastroduodenoscopy safer than transoral esophagogastroduodenoscopy with regard to cardiopulmonary function? Nature Clinical Practice Gastroenterol Hepatol 3: 376-377, 2006.
3. Nakamura T, Yamagishi H, Oinuma T, Masuyama H, Terano A: Esophageal capsule endoscopy versus magnifying endoscopy for detecting esophageal lesions. Proceedings of 11th World Congress of the International Society for the Disease of the Esophagus, Budapest (Hungary), Sept. 10-13, 2008. .

和文

1. 中村哲也, 白川勝朗: 大腸の血管形成異常に対するレーザー・凝固治療の適応. 日本醫事新報 4200: 87-88, 2004.
2. 中村哲也, 白川勝朗, 中野道子, 菅家一成, 平石秀幸, 寺野彰: 2. 消化管出血に対する画像診断法と今後の展開 7)カプセル内視鏡. 胃と腸 40: 491-498, 2005.
3. 中村哲也, 寺野彰: Capsule Endoscopy in USA and Europe, ICCE 2005 MIAMI. 消化器内視鏡 17: 500-504, 2005.
4. 中村哲也, 白川勝朗, 寺野彰: 胃潰瘍と小腸潰瘍. 治療 39: 464, 2005.
5. 中村哲也, 白川勝朗, 中野道子: 内視鏡診断: カプセル内視鏡. 消化器内視鏡 17: 821-825, 2005.
6. 中村哲也, 白川勝朗, 山岸秀嗣, 中野道子, 菅家一成, 菅谷仁, 平石秀幸, 寺野彰: カプセル内視鏡を用いた新しい検査. THE GI FOREFRONT 1: 66-69, 2005.
7. 中村哲也: 図説: バレット食道の臨床的特徴. 日本臨牀 63: 1316-1318, 2005.
8. 中村哲也, 白川勝朗, 山岸秀嗣, 生沼健司, 菅谷仁, 平石秀幸, 増山仁徳, 寺野彰: レーザー治療の基本とコツ PDT, 消化器内視鏡 17: 1673-1677, 2005.
9. 中村哲也, 白川勝朗, 山岸秀嗣, 中野道子, 菅家一成, 平石秀幸, 寺野彰: 日本におけるカプセル内視鏡検査の現状. Endoscopic Forum for digestive disease 21: 130-135, 2005.
10. 中村哲也, 白川勝朗, 増山仁徳, 寺野彰: 胃酸逆流の内視鏡診断. MB ENT 63: 16-25, 2006.
11. 中村哲也, 生沼健司, 平石秀幸, 寺野彰: 進行胃癌の内視鏡治療. Mebio 23: 92-99, 2006.
12. 中村哲也, 寺野彰: 小腸用カプセル内視鏡の実際-日本の多施設共同研究を中心に. 医学のあゆみ 220: 211-215, 2007.
13. 中村哲也, 山岸秀嗣, 福井広一, 増山仁徳, 藤盛孝博, 寺野彰: 総論 3. 拡大観察と組織構築の関連 2)胃. 胃と腸 42: 549-556, 2007.
14. 中村哲也, 生沼健司, 山岸秀嗣, 平石秀幸, 寺野彰: カプセル内視鏡(1) Given Imaging. 早期大腸癌 11: 183-189, 2007.
15. 中村哲也, 生沼健司, 山岸秀嗣, 平石秀幸, 寺野彰: カプセル内視鏡. 老年消化器病 19: 25-31, 2007.

16. 中村哲也, 生沼健司, 山岸秀嗣, 平石秀幸, 寺野彰: カプセル内視鏡: 食道, 小腸, 大腸検査に対する応用. CURRENT THERAPY 25 : 495-496, 2007.
17. 中村哲也, 寺野彰: 【用語解説】カプセル内視鏡関連. 消化器内視鏡 20: 1591-1592, 2008.
18. 中村哲也, 生沼健司, 渡辺秀考, 室久俊光, 玉野正也, 平石秀幸, 寺野彰: 超高齢者消化管癌に対する光線力学的療法 (PDT) の有用性と問題点. 消化器内視鏡 20: 1722-1727, 2008.
19. 中村哲也, 寺野彰: カプセル内視鏡の開発. Gastroenterol Endosc 50(Suppl.3): 3547-3550, 2008.
20. 中村哲也, 寺野彰: カプセル内視鏡によるスクリーニングの可能性. 臨牀消化器内科 23: 220-221, 2008.
21. 中村哲也, 寺野彰: カプセル内視鏡の概要. 日本医事新報 4374: 103-104, 2008.
22. 中村哲也, 寺野彰: 食道カプセル内視鏡の現況①. 臨牀消化器内科 23: 276, 2008.
23. 中村哲也, 生沼健司, 山岸秀嗣, 平石秀幸, 寺野彰: 分光画像内視鏡の上部消化管への臨床応用. 第 48 回日本生体工学会大会論文集. 470, 2009.

教育・研究業績書

センター名	職名	氏名	
大学病院医療情報センター	准教授	木村 一元	大学院の研究指導担当資格 有
II 学会等および社会における主な活動			
1975年12月～現在	日本Mテクノロジー学会（旧日本MUG）会員		
1980年4月～現在	日本Mテクノロジー学会評議員		
1984年～現在	医療情報学会員		
1988年～現在	生物物理学会員		
1994年11月～2005年8月	栃木県看護協会ファーストレベル研修情報管理講師		
1998年4月～2005年3月	宇都宮大学教育学部情報処理入門非常勤講師		
1999年4月～現在	日本Mテクノロジー学会出版会理事長		
2000年～現在	栃木県医師会情報推進委員会委員		
2002年～現在	宇都宮市宇都宮地域情報化推進専門会議委員		
2009年4月～現在	日本Mテクノロジー学会 会長		
III 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
【原 著】			
欧文			
1. Timchenko SKh, Kubareva EA, Volkov EM, Voronina OL, Lunin VG, Gonchar DA, Degtiarev SKh, Timchenko MA, Kihara H, <u>Kimura K</u> : Structure of Escherichia coli uracil DNA glycosylase and its complexes with nonhydrolyzable substrate analogues in solution observed by synchrotron small-angle X-ray scattering. Biofizika. Jan-Feb; 51: 5-12. Russian. 2006.			
2. Kubo N, Usami T, Haruyama Y, Muto T, <u>Kimura K</u> , Yukawa S, Kimura T, Yamane N: Characteristics of lifestyle and health status of workers in small-scale enterprises in Japan. Industrial Health 44: 161-165, 2006.			
3. Kojima M, Kezuka Y, Nonaka T, Hiragi Y, Watanabe T, <u>Kimura K</u> , Takahashi K, Yanagi S, Kihara H: SaxesMDView: A three-dimensional graphics program for displaying force vectors. J. Synchrotron Rad. 15: 535-537, 2008.			
4. Prokhorov DA, Timchenko AA, Uversky VN, Khristoforov VS, Kihara H, <u>Kimura K</u> , Kutysenko VP: Dynamics of oligomer formation by denatured carbonic anhydrase II. Biochim Biophys Acta. 1784: 834-842, 2008.			
5. <u>Kimura k</u> , Sairenchi T, Muto T: Meta-analysis Study for One Year Effects of a Nicotine Patch. J. Health Science 55: 233-241, 2009.			
和文			
1. 宇佐見隆廣, <u>木村一元</u> : 職域集団にみる動脈硬化危険因子の合併頻度. 東京都予防医学協会年報 33: 75-83, 2004.			
2. 土屋喬義, 田中千恵子, 駒田智彦, 滝口善美, <u>木村一元</u> : 土屋小児病院の院内診療支援システム. Mumps, J. MTA-J 23: 17-21, 2004.			

3. 木村一元: WebLink を用いた医学部学生向け教育システム. Mumps, J. MTA-J 23: 41-47, 2004.
4. 小島正樹, 毛塚雄一郎, 野中孝昌, 柊弓絃, 渡邊剛, 木村一元, 柳茂, 木原裕: タンパク質分子表示ソフト SaxsMDView の作成. バイオイメーキング 15: 101-102, 2006.
5. 土屋喬義, 田中千恵子, 木村一元: 医事システムと連動した POS レジの開発. Mumps, J. MTA-J 24: 21-25, 2008.

【症例報告】

【総 説】

【そ の 他】

欧文

1. Marchenkov V, Melnik B, Marchenko N, Timchenko A, Kimura K, Kihara H, Semisotnov G: Large-scale conformational changes of GroEL chaperonin induced by nonnative protein target. Photon Factory Activity Report 21: 222, 2004 (Web version).
2. Timchenko A, Kubareva E, Timchenko M, Ivanovskaya M, Kimura K, Kihara H: Oligomeric state of human p50 NF- κ B-GST and its complexes with DNA duplexes studied by synchrotron small-angle x-ray scattering. Photon Factory Activity Report 21: 241, 2004 (Web version).
3. Timchenko A, Serdyuk I, Negrutskii B, Kimura K, Kihara H: Conformation of domains of elongation factor eEF-1A Dictyostelium discoideum studied by synchrotron x-ray scattering. Photon Factory Activity Report 21: 242, 2004 (Web version).
4. Timchenko A, Timchenko M, Ivanovskaya M, Kimura K, Kihara H: Oligomeric state of human p50 NF- κ B and its complexes with DNA duplexes at reducing conditions studied by SAXS. Photon Factory Activity Report 22: 220, 2005 (Web version).
5. Timchenko A, Selivanova O, Shiryaev V, Kimura K, Kihara H: Studies of ribosomal protein S1 from Thermus thermophilus at different ionoc conditions in solution by X-ray small-angle scattering. Photon Factory Activity Report 22: 223, 2005 (Web version).
6. Timchenko A, Timchenko M, Shyp V, Kimura K, Kihara H: Comparative analysis of stability of human NF- κ B p50 subunit and its mutant forms C62W and R59E against urea studied by small-angle x-ray scattering. Photon Factory Activity Report 23: 197, 2006 (Web version).
7. Timchenko A, Timchenko M, Shyp V, Kimura K, Kihara H: DNA-binding properties of human NF- κ B p50 subunit and its mutant from R59E studies by synchrotron small-angle x-ray scattering. Photon Factory Activity Report 23: 198, 2006 (Web version).
8. Timchenko A, Tsvetkov V, Timchenko M, Shyp V, Kimura K, Kihara H: Influence of point mutations in the NF- κ B p50 subunit region interacting with DNA minor groove on the protein stability studied by SAXS. Photon Factory Activity Report 24: 217, 2007 (Web version).
9. Timchenko A, Timchenko M, Shyp V, Kimura K, Kihara H: NF- κ B p50 subunit forms a tetramer in solution at presence of specific DNA duplex as observed by SAXS. Photon Factory Activity Report 24: 247, 2007 (Web version).

10. Timchenko A, Serdyuk I, Negrutskii B, Novosylna A, Deryusheca E, Prituzhalov E, Kimura K, Kihara H: Comparative analysis of solution structure of two isoforms of rabbit elongation factor eEF1-A by SAXS technique. Photon Factory Activity Report 25: 246, 2008 (Web version).
11. Timchenko A, Serdyuk I, Negrutskii B, Novosylna A, Prituzhalov E, Kimura K, Kihara H: Study of complex formation between calmodulin and two isoforms of rabbit elongation factor eEF1-A by SAXS method. Photon Factory Activity Report 25: 247, 2008 (Web version).

和文

1. 和田攻, 宇佐美隆廣, 林文明, 飯田秀晴, 植田康久, 藤田寿久, 興原幸子, 木村一元: 小規模事業場における労働衛生管理の進捗状況調査. 労働福祉事業団埼玉産業保健推進センター, さいたま, 2004.
2. 渡辺 博, 木村一元, 田中吾朗, 土屋喬義, 稲葉憲之: 当院における分娩台帳プログラムの変遷-JET8801AからM言語へ-, 第33回日本Mテクノロジー学会大会論文集 11-14, 2006.
3. 木村一元: WebLink アプリケーションから CSP アプリケーションへ. 第33回日本Mテクノロジー学会大会論文集 55-60, 2006.
4. 土屋喬義, 田中千恵子, 木村一元: MSM, U-MUMPS より Cache ベースシステムへの移行経験. 第34回日本Mテクノロジー学会大会論文集 5-10, 2007.